

栗原みつはる活動報告

～未来へのまちづくり～ 号外①



◆岸町1丁目 水害対策

昨年10月の台風21号では、床上浸水5件、床下浸水28件と大きな被害が出ました。
中でも写真①付近は、周辺よりも低い場所であり、過去に何度も水害が発生している場所で、台風21号の際にも特に被害が大きかった地域です。
これまでは、可搬式ポンプを2台使用して奥の水路への排水対策を実施してきましたが、根本の解決には至っておりませんでした。
今回、ここに集まってくる雨水を図③のように側溝を通して、迂回させ奥の水路に排水する工事計画が決まり、この排水がうまくいけば、周辺にまで及ぶ水害も解消されるものと考えております。
併せて、排水先の水路は未だ一部分が素掘りの状態で整備されておられません(写真②)。
この水路につきましても整備計画を調整中です。
工事につきましては、上期中の完成を要望しております。



岸町1-21番地付近排水計画



県教職員住宅跡地



◆岸町2丁目 公園設置要望

現在岸町1丁目には、こども広場や滝ノ下公園があり、岸町3丁目にはふれあい広場があります。
岸町三町内の中で大きな公園がないのは岸町2丁目だけあり、子供たちの遊び場がないのが現状です。
地元から以前より公園設置の要望が出されておりましたが未だ実現に至っておりません。
そうした中、以前から話が出ておりました、現在は県有地である、**県教職員住宅跡地(岸町2-41番地奥)への公園設置を調整**してまいりました(左写真)。
川越市としては、既に県へ公園用地として払い下げの希望も出しており、オリンピック後の地方庁舎跡地の防災公園活用へ目途が付いたことから、私としては**来年度、教職員住宅跡地の県からの払い下げ、公園設置にかかる費用の予算化を強く要望**しております。
来年度予算で予算化をさせていただき、子供たちが遊べ、グランドゴルフ、夏祭りができ、また**災害時に防災拠点としても使える公園設置**を継続して進めてまいります。

◆岸町3丁目 久保川河川改修

久保川は、狭山市から岸町で不老川と合流しており、川越市区間は2475mと河川総延長全体の約4分の1を川越市が占めます。
この久保川はもともと農業用水でしたが、**流域の市街化**が進むことで久保川への**雨水量が増大**し、大雨時には、**流下能力不足**の課題がある状況です。
そこで今回約1億1千万円の予算を付けて、**不老川との合流部から岸町橋までの約90mの河川改修**が行われます。
改修は、現在の断面の傾斜をきつくして大きい断面に広げ、**毎秒45m³へ流下能力の向上**を図る内容で、**今年11月～12月頃より工事施工**の予定となっております。
工事期間中の周辺的安全対策を注視するとともに、傾斜がきつくなることで児童などの転落時の**危険性が高まります**が、写真のようにフェンスがない部分もありますので**護岸の整備**も含めて要望してまいります。

